

大野市消防団 広報誌

# 消防団だより

Ver2020

大野市消防団 団長挨拶  
新たな風と変化を求めて



「大野市大火記念日」とは：  
歴史を知り未来へ繋げる“まちづくり”

～団長挨拶～

～歴史探訪「大野市大火の歴史」～

～コロナに負けず!有事の備えを!～

～未来を担う若手消防団員にインタビュー～

## ～ご挨拶～

大野市消防団長の多田繁男です。

大野市消防団は、485名（うち女性消防団員100名を含む）で組織され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神で市民の安全・安心のために日々活動しています。

本誌発行から今年で9年目を迎えますが、これからも地域に根ざした活動を通じて、市民の皆様から信頼される消防団を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

大野市消防団 団長 多田 繁男



## 大野市大火の歴史

人間と火は、遠い昔から今日に至るまで、さまざまな形で関わり続けています。炊事、暖を取る、明かりを灯すなど「火の利用」は、私たちの日常生活に欠かすことのできない物となりました。

しかし、その一方で利用方法を誤ると私たちの生活を脅かす物であることも決して忘れてはいけません。

大野市の大火の歴史を振り返ると、江戸時代中期から明治時代中期の約200年の間に、8度も大火に見舞われています。度重なる大火により、住民が防火対策に本腰を入れるきっかけとなったのが、明治21年4月8日に発生した「大野町明治の大火」です。この火災をきっかけに町ぐるみで防火に立ち上がった記録に残る日となりました。

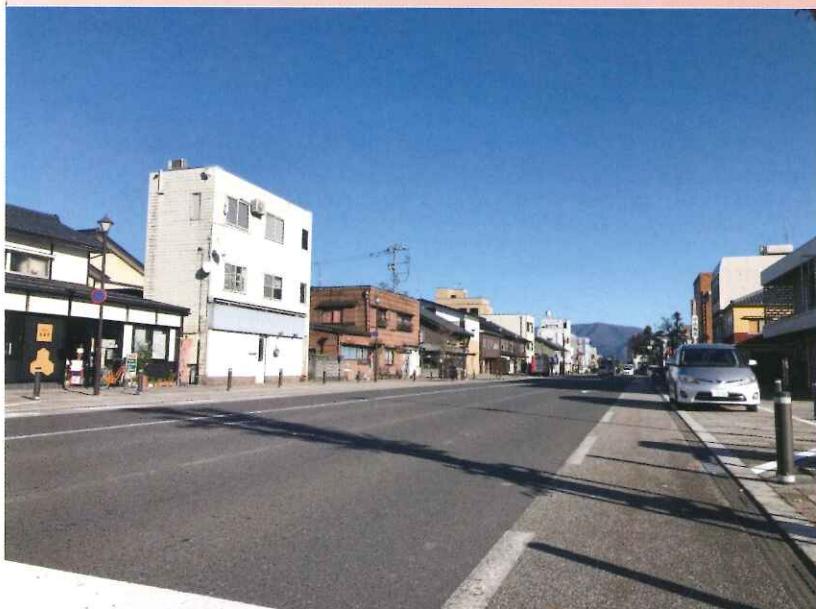
この「大野町明治の大火」は現在も大野市の「大火記念日」として受け継がれ、毎年4月に消防総合訓練※を実施しています。

※：消防総合訓練は令和3年より4月第2週目の日曜日に実施します。

### 大野町明治の大火

とき：明治21年4月8日 午後5時頃

内容：横町の銭湯から出火した火が、名物の翼風に乗って、本町、二番、三番、六間、七間などの民家を焼失し、大野町最大の火災となりました。



### 知ってる？？大野の豆知識

“六間通りが広いヒ・ミ・ツ”

大野町明治の大火から立ち直り始めた、明治32年6月18日午後10時頃、横町から出火した火が、強い南東の風に煽られ、大野町二度目の大火となってしまいます。初代大野町町長、岡 気一（おか きいち）は、この二度目の大火により町が大きな痛手を負ったことから、町の抜本的な防火対策に取り組むことを決意し、当時のお金約2万円で六間通りと石灯籠を防火線として広げました。



# コロナ禍での消防技術訓練

～コロナに負けず有事の備えを～

## 消防技術訓練とは・・・

2020年はコロナ禍の影響により、消防操法大会や、火災防御訓練など様々な訓練が中止となりました。

この状況の中、大野市消防団は、消防技術を維持するため、1分団～9分団の全分団が実火災を想定した火災防御訓練を実施しました。



## ●消防技術訓練を終えて・・・

第1分団長(大野地区) 水尻 交二	今回の訓練内容を十分に反復し、実災害時に活動できるよう、「一致団結」し取り組んでいく。	第6分団長(富田地区) 米村 栄一	他の模範となるよう、今回の訓練内容を分団内で反復し、災害現場に備えていく。
第2分団長(下庄地区) 齊藤 長治	今回の訓練と全国操法大会を経験して、火災現場において“迅速・確実・安全”に活動できるようになった。	第7分団長(阪谷地区) 森 康哉	すべての消防団活動が中止になるなか、今回の訓練は消防団員としての意識向上につながった。
第3分団長(乾側地区) 畠原 幸三	常日頃の訓練の大切さを知った。今後も分団内の連携を密にして取り組んでいく。	第8分団長(五箇地区) 廣田 賢吾	操法大会や日々の訓練では習得できない、現場に即した技術が理解でき大変有意義であった。
第4分団長(小山地区) 永田 恵三	新入団員への指導はもちろんのこと、既団員の現場での行動を再確認でき、有意義な訓練であった。	第9分団長(和泉地区) 谷 樹能	頭の中で分かっていてもいざ現場となると動けない。今回の訓練はそれを再認識できた訓練であった。
第5分団長(上庄地区) 浦山 一郎	様々な消防団行事が中止・延期となるが、火災や緊急の事態に備え、ポンプ等の点検は怠らず実施する。		

消防団活動を詳しく知りたい方へ

こちらのQRコードから大野市公式ホームページ内の消防団ページへ移動します。

2021年こそは

コロナに負けない時代へ、全集中！

明るい時代に“時を戻そう”・・・



### 【お問い合わせ】

大野市消防本部・署 警防課

電話:0779-64-4898

住所:大野市天神町 7-14

発行・編集 令和2年12月

# 未来を担う若手消防団員にインタビュー！！

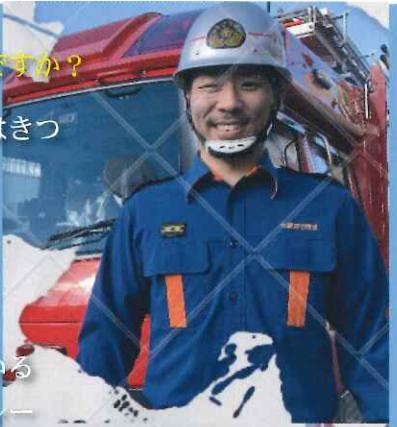
**Q** どうして消防団に入りましたか？  
**A** 地元に就職したこともあり、何か一つでも地元に貢献したいと思い入団を決意しました！！

**Q** 消防団に入ってうれしかった事は何ですか？  
**A** 幅広い年代の人達と交流がもて、知り合いが増えた。また地域の方々に「頑張れ」「ありがとう」と言われた瞬間は入団してよかったです。

●仕事場では係長！家では3児の良き父！  
消防団では1分団のムードメーカー！！  
消防団として大野を守る！！  
楽天的な性格をしています！！消防団に入り常に前向きに進んでいましたが、たまに立ち止まり考えて行動することが大事だと気付きました。

**Q** 消防団に入ってつらかった事は何ですか？  
**A** 早起きが苦手なので、早朝の訓練はきつかったです。。。

**Q** 休日はなにをしていますか？  
**A** 小さいころから同じ仲間と続けている野球をしています。また子供のバーボールの応援で気分をリフレッシュしています！！



## 大野の町を陰で支えるピックタディ



### 第1分団第3部（大野地区）

**井川 修介（32）** 株式会社 フクタカ

経歴：高校卒業後、株式会社 フクタカへ入社（入社13年目）

大野市消防団には平成21年10月入団（11年目）

### 結の故郷女性分団第1部

**前田 幸奈（26）** 株式会社 MAEDA

経歴：高校卒業後、株式会社 MAEDAへ入社（入社5年目）

大野市消防団には平成26年4月入団（6年目）



**Q** どうして消防団に入りましたか？  
**A** 大野市民の一人として少しでも地域に貢献したい！！  
何か自分にできることがあるかもしれないと思い消防団に入りました！！

**Q** 消防団に入ってうれしかった事は何ですか？  
**A** 消防団活動に参加していく中で、今まで知らなかった知識・経験を得ることが出来ました。中でも保育園児のかわいい笑顔が見えたことや、高齢者の方に「ありがとう！頑張ってね！」と言葉をかけてもらえたことがすごく嬉しかったです。

●女性分団で一番の若さ！！  
これからも地域発展のために！！  
消防団に入団してまだ6年目なので分からないことも色々ありますが、仲間の力を借りて成長していくといいなあと思っています。

**ユキナがやらなきゃ誰がやる！！**